

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

健康診査事業 2億1,307万円
(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

財源	国の負担額	14万円
	県の負担額	251万円
	利用者等の負担額	4,338万円
	市の負担額	1億6,704万円

風しん予防対策事業 1,063万円
(担当：健康推進課健康推進係)

風しんの蔓延を防止し、市民の安全安心な暮らしを確保するため、風しんの抗体検査と予防接種を無料で実施する予防対策事業を実施します。

財源	国の負担額	323万円
	市の負担額	740万円

障害者地域生活支援事業 1億1,668万円
(担当：社会福祉課障害福祉係)

訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障害者（児）の方に、訪問による入浴等の支援を行います。

相談支援事業

障害者の方やその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障害者の方の社会参加を推進するため、自動車免許の取得費や自動車の改造費を助成します。

移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者（児）の方に、外出する際の支援を行います。

成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない障害者の方が、安心して日常生活を送ることができるよう、適切な援護者を選び、本人を保護するための支援を行います。

コミュニケーション支援事業

言語による意思の疎通を図ることに支障がある障害者の方に、手話通訳者や要約筆記者を派遣するなどの支援を行います。

日中一時支援事業

障害者（児）の方に日中の活動の場を提供するとともに、家族の就労支援、介護の負担軽減を図るため、一時的な見守りの支援を行います。

日常生活用具給付事業

障害者（児）の方の日常生活を支援するために、ストーマ装具や杖などの日常生活用具を給付します。

社会復帰施設運営事業

在宅の障害者の方の社会復帰を促進するため、通所による作業指導や生活訓練等の支援を行います。





日中一時支援事業の様子

財源	国の負担額	2,395万円	県の負担額	1,197万円	市の負担額	8,076万円
----	-------	---------	-------	---------	-------	---------

3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

いのちを守る総合対策事業

1億215万円

(担当：社会福祉課社会福祉係・健康推進課保健指導係)

自殺防止について広く市民に啓発し、自殺防止への関心を高めるため、自殺防止キャンペーンや自殺防止講演会を実施します。また、多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などの自殺防止対策にも取り組みます。

小中学生等を対象とした金融教育の普及啓発事業も継続して実施します。

(2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します

高齢者生きがい健康づくり等事業

6,618万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

在宅の高齢者が生きがいを持ち、いつまでも健康で生活できるように、各種福祉サービスを提供し高齢者への支援を行います。

また、各種事業を通して日常生活の不安の解消や見守りを行います。

生きがい活動支援通所事業、福祉タクシー利用助成事業、宅配給食サービス事業、ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業、日常生活支援業務利用助成事業、寝具洗濯等サービス事業、生活管理指導短期宿泊事業の7事業を実施します。



ミニデイでの卓球バレー

財源 利用者の負担額 1,470万円 市の負担額 5,148万円

介護福祉士就職支援金助成事業 80万円

(担当：介護福祉課介護保険係)

安定した介護サービスの提供、介護人材の確保と定着を図ることを目的に、介護福祉士の資格を取得し、市内の介護サービス事業所に新たに就職する方に対して、就職支援金を助成します。

助成金 40万円(1人1回限り)

介護人材確保・定着事業 320万円

(担当：介護福祉課介護保険係)

介護人材確保、介護職員の資質向上と介護サービスの安定供給に資することを目的に、市内の介護サービス事業所に従事している方が受講する介護職員初任者研修、または実務者研修の受講料を助成します。

初任者研修受講料 限度額10万円/件
実務者研修受講料 限度額20万円/件

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

新 = 新規事業
 拡 = 拡充事業
 (事業名の頭に標記)

新 経営継承・発展等支援事業

300万円

(担当：農林畜産課農産園芸係)

地域農業の経営体を確保するため、実質化した人・農地プランに基づき、家族農業経営を始めとする担い手の経営を継承し、経営向上に意欲のある農業後継者へ、経営向上の取り組みに必要な経費の一部を支援します。

- ・対象経費：研修費、旅費、機械装置等費など
- ・補助上限：100万円

財源	国の負担額	150万円
	市の負担額	150万円

新 家族農業経営等発展支援事業 30万円

(担当：農林畜産課農産園芸係)

家族農業経営等から経営を継承し、経営継承・発展等支援事業の対象者で、経営向上に意欲のある後継者へ経営向上の取り組みに対し必要な経費の一部を支援します。

- ・対象経費：経営継承・発展等支援事業に準じる
- ・補助上限：10万円

新 ナラ枯れ防除事業

45万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

栗原市内でナラ枯れ被害が急増し、被害が拡大する恐れがあるため、適切な防除及び被害木の伐倒駆除等を行い、被害の蔓延防止を図るために調査を行います。

栗原の美しい森林再生事業

4,209万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

適切な管理が行われていなかった私有林（人工林）の森林管理を推進し、水源の保全、災害の防止、二酸化炭素の吸収など森林の持つ公益的機能の維持を図ります。

そのため、栗原の美しい森林の再生を目指して、私有林の所有者に対して意向調査を行い、市が仲介役となって、林業経営体等への施業の集約化を行い、森林環境譲与税を財源に間伐作業等を実施します。

県営ほ場整備事業等負担金

9,611万円

(担当：農村整備課計画調整係)

地域で描いた将来の営農構想を実現するため、担い手の育成を図るとともに、農地の集積を促進し、ほ場の大区画化、用排水施設、農道等の整備を行います。

ほ場整備事業 13地区

《若柳》 伊豆沼2工区地区、大目地区、上畑岡地区 《若柳・志波姫》 沼田・八木地区

《栗駒・鶯沢》 稲屋敷・袋地区 《高清水》 東田地区



《瀬峰》 迫第四地区、藤田地区、瀬峰地区、藤沢地区 《金成》 津久毛地区、有壁地区

《志波姫》 上沼地区

財源	市の負担額	9,611万円 (うち市債[借入金] 9,600万円)
----	-------	-----------------------------

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

多面的機能支払交付金事業

3億8,295万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

農業・農村が有している国土の保全、資源かん養、景観の形成などを図るため、日頃、地域の皆さんが行っている農地等の保全管理のための共同活動に対して支援します。

多面的機能支払交付金は、次の2つの交付金から構成されています。

(1) 農地維持支払交付金

水路・農道の草刈り、泥上げ等の基礎的な保全活動

(2) 資源向上支払交付金

水路・農道などの軽微な補修や植栽による景観形成、生き物調査などの農村環境の保全活動

財源 国・県の負担額 2億8,721万円
市の負担額 9,574万円

全国和牛能力共進会鹿児島大会対策事業

124万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

5年に一度開催される全国和牛能力共進会に、栗原市から多く参加できるように研修会への参加費や牛の運搬費を助成します。



第11回全国和牛能力共進会宮城大会の様子

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

2,000万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付します。

また、父牛が栗原産の宮城県基幹種雄牛の場合は、補助金を増額し市内保留確保を強化します。



宮城県基幹種雄牛「好 久 勝」号

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

= 新規事業 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

林道整備事業 3, 274万円 (担当：農村整備課農地整備係)

既設林道の改修整備を行い、安全な通行を確保します。

林道整備事業 1路線
《栗駒・花山》 花山～文字線
森林施設維持管理事業
《ふるさと緑の道》

財源 県の負担額 729万円
市の負担額 2,545万円
(うち市債[借入金] 980万円)



整備が進む林道花山～文字線(花山)

有害鳥獣対策事業 2, 010万円 (担当：農林畜産課林業振興係)

鳥獣による農林水産業等被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲を行います。

また、被害防止のため、電気柵等の防護設備を設置された方に対し購入費用の助成を行います。さらに、鳥獣被害対策実施隊員を確保するため、装備品の貸与や、狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する取得費用の助成を行います。

財源 県の負担額 95万円
市の負担額 1,915万円



被害防止のために設置した電気柵

6次産業推進事業

660万円

(担当：農業政策課6次産業・ブランド推進係)

6次産業化へ円滑に取り組むために必要な知識を習得する機会として、市内の農林漁業者等を対象として研修会(育成塾)を開催します。

また、6次産業化に取り組みたい農林漁業者等を支援するため、「栗原市6次産業化推進事業補助金」を措置し、知識と資金の両面でサポートします。

この補助金には、次の2種類があります。

- (1) 推進事業(ソフト事業) 新商品等開発事業、販売促進事業
- (2) 整備事業(ハード事業) 施設及び機械設備等整備事業

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

■ 新規事業 ■ 拡充事業 (事業名の頭に標記)

小規模事業者経営改善資金融資 (マル経融資) 利子補給補助事業 68万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

小規模事業者の経営の安定等のため、小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)を受けた小規模事業者に対し、1年目と2年目の利子額の一部を補助します。

【制度概要】

利子補給補助率 0.36% (マル経融資に係る約定利率1.21%から0.85%を減じた率)

移住・就業対策支援事業 600万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

東京23区の在住者または通勤者が市内に移住し、県が指定する企業等に就職または起業したときに、移住支援金を交付します。

【制度概要】

移住支援金 世帯 限度額100万円
 単身 限度額 60万円

財源 県の負担額 450万円
 市の負担額 150万円

企業立地投資奨励金 企業立地促進奨励金

4億4,334万円

1億3,709万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて、それぞれ投資額の5%から20%までの範囲内で助成します。

【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設した企業に対し、投資規模に応じて、固定資産税相当額の2/3以上を3年間助成します。



残り2区画となった若柳金成インター工業団地

ビジネスチャレンジサポート事業

1,479万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市内において、新たに小売店、飲食店等を開業する方の初期投資の軽減を図ることを目的として、開業費用の一部に対し、助成します。

【制度概要】

- ・改修、設備費補助(1回限り)
補助率1/2、限度額50万円
- ・賃借料補助(12か月間)
補助率1/2、限度額1月あたり4万円
- ・セミナー等参加経費補助(1回限り)
補助率2/3、限度額20万円



補助金を活用して開業した飲食店(築館地区)

4 「地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を生かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗駒山登山道整備・渋滞対策事業
2, 295万円
(担当：田園観光課観光交流係)

栗駒山エリアでの観光誘客のため、登山道の整備や、紅葉時期の環境負荷軽減と観光客の利便性向上を目指したシャトルバスの運行などを実施し、交流人口の増加につなげます。

栗登一平誘客促進事業 227万円
(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

栗登一平（栗原市、登米市、一関市、平泉町）にある魅力的な観光地を周遊ルートでつなぎ、スケールメリットを生かした滞在型観光について検討し、交流人口の増加につなげます。

栗駒山麓ジオパーク推進事業 5, 565万円
(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)



氾らんや浸食など河川形成の様子を体感できるプログラム

栗駒山麓ジオパークビジターセンターを活動の拠点施設とし、来館者が学び、楽しめる展示内容の充実を図ります。

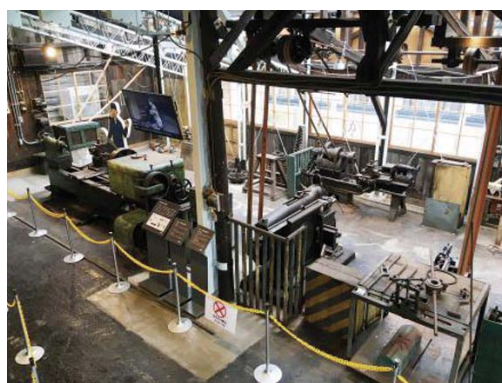
また、子ども達へのジオパーク学習や、ガイド養成講座、体験できるプログラムなどを通じて、栗駒山麓ジオパークの魅力地域内外へ発信するなどの活動を推進します。

くりはら田園鉄道公園運営事業 3, 567万円
(担当：企画課企画政策係)

くりはら田園鉄道公園は、令和3年4月から指定管理者による管理運営を行っています。

今後は、民間のノウハウを生かしながら、くりでんの魅力を市内外に広く発信します。

引き続き「くりでんミュージアム」では、旧くりはら田園鉄道の資産や沿線ジオラマ、実際に使用していた工作機械等を展示しているほか、旧若柳駅では、KD95などの気動車やレールバイクを活用した乗車会を定期的開催します。



くりでんミュージアム内の工作機械展示

財源	売店品販売額	35万円
	市の負担額	3, 532万円